

■ 定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AP57964・AP57966・AP57968 AP57970・AP57972・AP57974 AP57976・AP57978・AP57980 AP57982・AP57984・AP57986	AC100V	0.11A	7.2W	LED

■ 施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 取付面がクロス貼りの場合
接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

■ 施工手順 ⚠ 注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

＜付属部品＞

取付ネジ・・・・・・・・・・2本

1 本体を取付ける
本体に電源線を通し、取付ネジで取付ける。
＜傾斜天井に取付ける場合＞
方向刻印の指示に従って取付ける。
⚠ 警告 方向刻印に従って取付けてください。
指定方向以外に取付けた場合は破損・落下による
けがの原因になります。

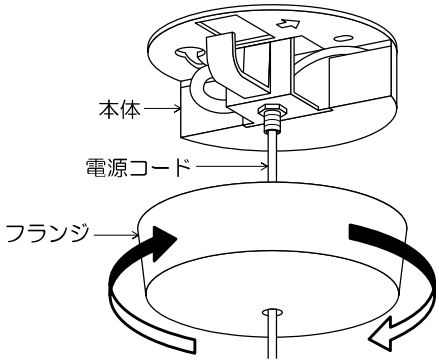
2 電源線を接続する
ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、
接続端子に確実に差し込む。
⚠ 警告 電源の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。

非接地側（黒）
接続端子
10mm
電源線
接地側（白）
ストリップゲージ
適合電線 Cuφ1.6・φ2.0単線

＜電源線をはずす場合＞
接続端子をねじりながら電源線を引き抜いてくだ
さい。再結線の際は、傷ついた電源線を切り捨て
て新しくむきなおしてから行なってください。
曲がったり傷ついた電源線は接触不良、または火
災の原因になります。

3 フランジを取付ける

フランジを本体に合わせて締め付ける。
※天井とフランジの間にすきまが発生する場合があります。
※無理な力はいはえないでください。
※フランジの締め付けが硬くなったところで、電源
コードのストッパー機能が働くので、それ以上の
締め付けはしないでください。
⚠ 警告 締め付けの際、電源コードをはさまないで
ください。
火災・感電の原因になります。



4 点灯の確認を行なう

■ 電源コードのよれについて

• 電源コードのよれを直す場合には、無理に引っ張らず、ゆっくり丁寧に手で伸ばしてください。
※無理な力を加えるとコードへの傷や、断線の原因となります。

■ 器具の高さ調整について

1 電源を切る

2 灯具を支えながら、本体からフランジを取外す

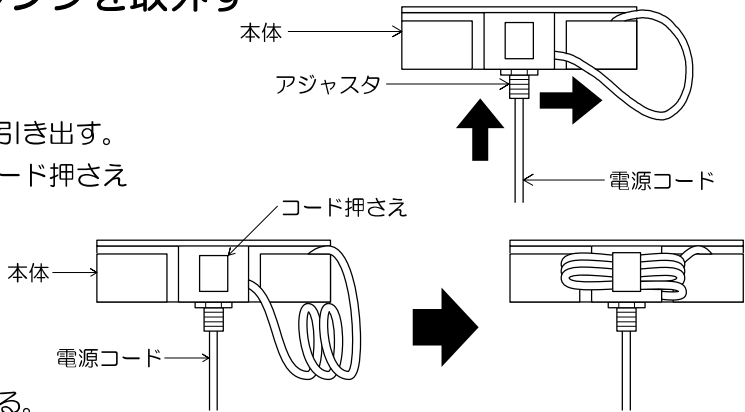
3 電源コードを調整する

＜電源コードを短くする場合＞
①電源コードをアジャスタに押し込み、横から引き出す。
②押し込んだ電源コードを本体側面で束ね、コード押さえ
に引っ掛ける。
※約70cm収納できます。

＜電源コードを長くする場合＞
①コード押さえから束ねた電源コードを外す。
②電源コードを横から押し込み、引き下げる。
③余った電源コードはコード押さえに引っ掛ける。

4 灯具を支えながら、フランジを締め付ける

※無理な力はいはえないでください。
⚠ 警告 締め付けの際、電源コードをはさまないで
ください。
火災・感電の原因になります。



⚠ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■ 使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は5個までとしてください。壁
スイッチを6個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。
- ライトコントローラ・調光器(別売)を使用しての調光時、および器具取付場所により、器具からのうなりが聞こえる
場合がありますが、故障ではありません。
- ライトコントローラなどの調光器と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定のライトコントローラ・調光器(別売)
をご使用ください。チラツキ・誤作動の原因になります。